

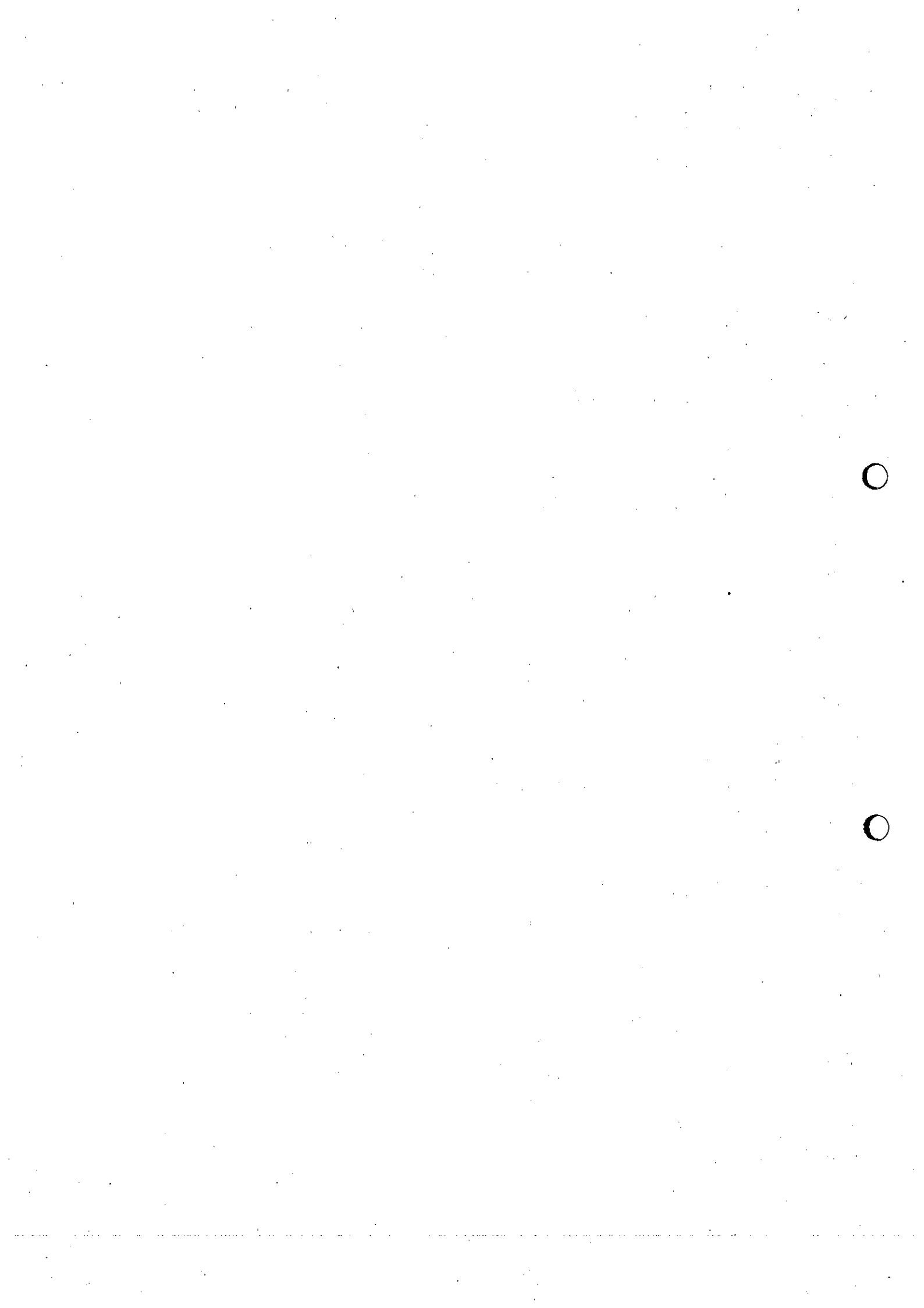
本資料の第三者への開示、複写、転用、転載はご遠慮ください。

地域医療構想における対応方針

【地域医療構想調整会議】

目次 地域医療構想における対応方針

医療圏	市町村	病院名	高度急性期を担う病院	重症急性期を担う病院	新公立病院改革プラン策定病院	公的医療機関等2025プラン策定病院	ページ
中和	葛城市	當麻病院					4001
		関屋病院					4005
	香芝市	香芝旭ヶ丘病院		○			4009
		香芝生喜病院	◎				4013
	橿原市	奈良県立医科大学附属病院	◎			□	4017
		平成記念病院		○			4023
		平成まほろば病院					4029
		万葉クリニック					4033
		橿原リハビリテーション病院					4037
		大和橿原病院		○			4041
		平尾病院		○			4045
		樋上病院(2019/11/1有床診療所に転換)					-
		錦織病院					4049
	高取町	飛鳥病院					4055
	大和高田市	大和高田市立病院	◎			■	4059
		土庫病院		○			4063
		中井記念病院		○			4067
		吉本整形外科・外科病院		○			4071
	御所市	済生会御所病院				□	4075
		秋津鴻池病院					4079
東和	天理市	天理よろづ相談所病院	◎			4083	



地域医療構想における対応方針

機能毎の病床数(医療圏別)

令和2年2月12日作成

【奈良県全体】

	当初 <H28年度> 許可病床数	現在 <R1年度> 許可病床数	将来 <R7/2025年度>	増減 (将来-当初)
高度急性期	1466床	1396床	1483床	▲ 17
急性期	4342床	4541床	4532床	▲ 190
回復期	2391床	1992床	1913床	▲ 478
慢性期	1895床	2445床	2667床	772
有床診療所	3174床	2597床	2347床	▲ 827
休棟等	455床	394床	394床	▲ 61
合計	639床	537床	395床	▲ 243
	14361床	13902床	13731床	▲ 630

地域医療構想における対応方針の提出状況

病院数	提出数
奈良県全体	77
奈良医療圏	23
東和医療圏	12
西和医療圏	18
中和医療圏	19
南和医療圏	5

※潮田病院含む

(令和2年1月全床介護医療院に転換)

【奈良医療圏】

	当初 <H28年度> 許可病床数	現在 <R1年度> 許可病床数	将来 <R7/2025年度>	増減 (将来-当初)
高度急性期	64床	98床	116床	52
急性期	1380床	1317床	1319床	▲ 61
回復期	564床	468床	468床	▲ 96
慢性期	636床	847床	904床	268
有床診療所	1087床	838床	780床	▲ 307
休棟等	94床	87床	87床	▲ 7
合計	29床	49床	0床	▲ 29
	3854床	3704床	3674床	▲ 180

【東和医療圏】

	当初 <H28年度> 許可病床数	現在 <R1年度> 許可病床数	将来 <R7/2025年度>	増減 (将来-当初)
高度急性期	397床	359床	382床	▲ 15
急性期	659床	693床	613床	▲ 46
回復期	479床	531床	585床	▲ 74
慢性期	318床	228床	531床	52
有床診療所	88床	81床	228床	▲ 90
休棟等	119床	65床	81床	▲ 7
合計	2719床	2522床	65床	▲ 54
			2485床	▲ 234

【西和医療圏】

	当初 <H28年度> 許可病床数	現在 <R1年度> 許可病床数	将来 <R7/2025年度>	増減 (将来-当初)
高度急性期	537床	490床	534床	▲ 3
急性期	854床	1073床	1129床	275
回復期	611床	421床	369床	▲ 242
慢性期	345床	450床	500床	155
有床診療所	948床	615床	565床	▲ 383
休棟等	93床	93床	93床	0
合計	52床	48床	0床	▲ 52
	3440床	3190床	3190床	▲ 250

【中和医療圏】

	当初 <H28年度> 許可病床数	現在 <R1年度> 許可病床数	将来 <R7/2025年度>	増減 (将来-当初)
高度急性期	460床	441床	443床	▲ 17
急性期	1265床	1274床	1287床	22
回復期	465床	496床	461床	▲ 4
慢性期	399床	486床	601床	202
有床診療所	619床	669床	587床	▲ 32
休棟等	121床	74床	74床	▲ 47
合計	348床	375床	330床	▲ 18
	3677床	3815床	3783床	106

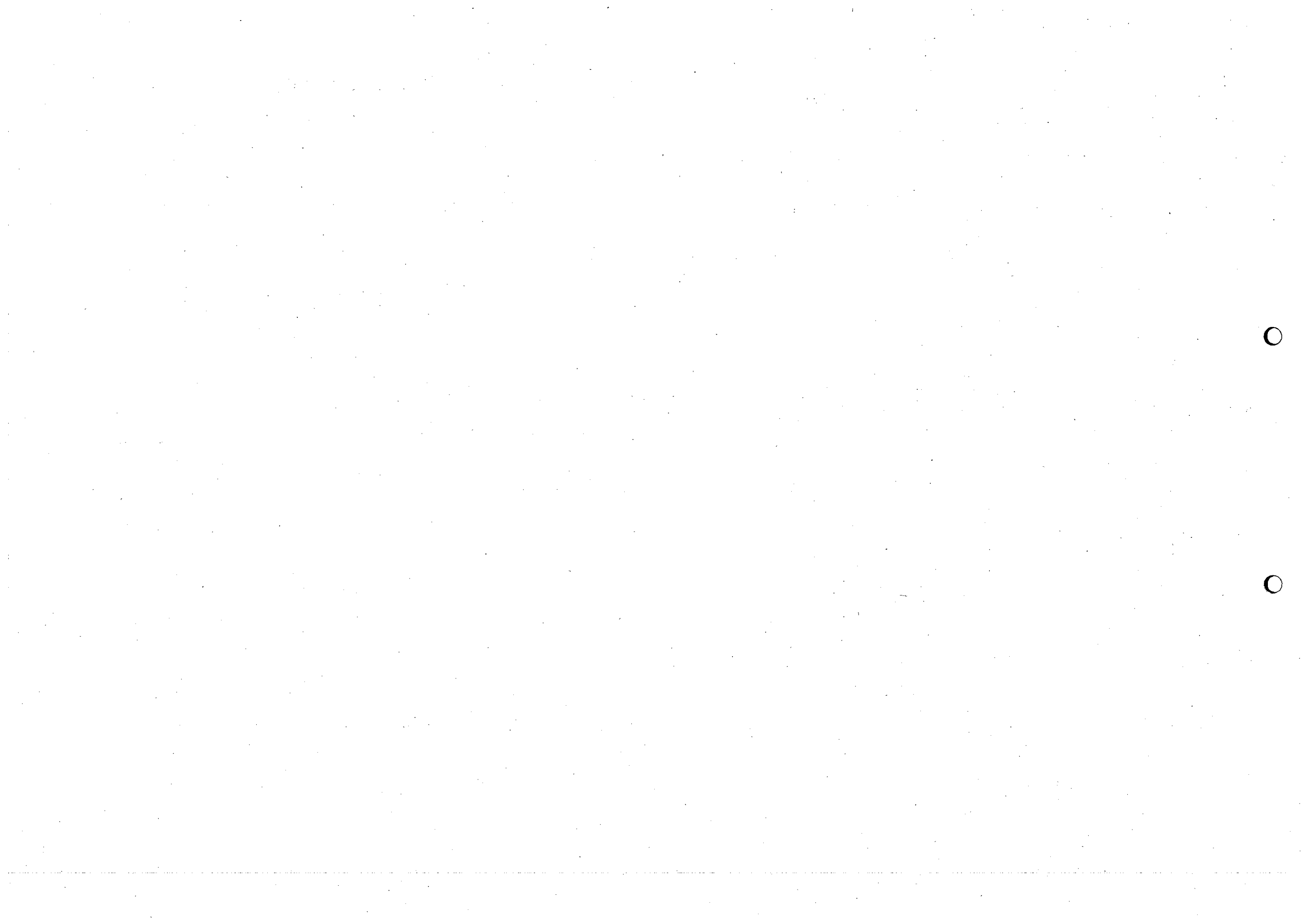
【南和医療圏】

	当初 <H28年度> 許可病床数	現在 <R1年度> 許可病床数	将来 <R7/2025年度>	増減 (将来-当初)
高度急性期	8床	8床	8床	0
急性期	184床	184床	184床	0
回復期	92床	42床	30床	▲ 62
慢性期	36床	131床	131床	95
有床診療所	202床	247床	187床	▲ 15
休棟等	59床	59床	59床	0
合計	90床	0床	0床	▲ 90
	671床	671床	599床	▲ 72

【留意事項】

・将来<R7/2025年度>の病床数を未定と回答された医療機関の病床数及び将来<R7/2025年度>の有床診療所の病床数については、現在<R1年度>許可病床数に置き換えて集計しています。

・将来<R7/2025年度>の病床数について、幅をもたせて回答されている場合は、急性期から他機能への転換が最大行われた状態を想定して病床数を集計しています。



医療法人向聖台會

當麻病院

地域医療構想における対応方針

令和元年12月作成

病院名： 當麻病院

医療圏： 中和医療圏

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

① 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

- ・ 地域医療の精神科分野を担い、良質な医療を提供する。
- ・ 在宅復帰を促進し、それを支えるための通所機能、在宅医療を強化する。

② 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

- ・ 一般病院や関係機関との積極的な連携から精神疾患の早期発見・早期治療を進める。
- ・ 在宅医療における精神科分野でのサポート、院内通所施設での医療提供。
- ・ 地域連携に基づき、関連機関における精神科身体合併症患者、認知症疾患患者への精神科分野でのサポート。

③ ②を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

- ・ 精神科入院患者の地域移行の推進。
- ・ 新病棟の建設により、療養環境を改善し、急性期治療機能を強化する。
- ・ 精神科デイケアの新設により、通所機能の強化と訪問看護を強化し、在宅における精神科医療を支える。

様式 2

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

① 機能毎の病床数のあり方等について

※ (a) の列は、同封している「病床数一覧」の H28 年度の数値を記入してください。

		(a) 〈H28 年度〉 許可 病床数	※R 元年度病床機能報告等の数値を記入		(b) 将来 (R7/2025 年 度)	(b-a) H28 年度か らの増減	
			〈R 元年度〉 許可 病床数	稼働 病床数			非稼働 病床数(注1)
一般 病床 療養 病床	高度急性期	床	床	床	床	床	
	急性期	重症	床	床	床	床	床
		軽症	床	床	床	床	床
	回復期	床	床	床	床	床	
	慢性期	床	床	床	床	床	
	休棟中	床	床		床	床	
	(合計)	床	床	床	床	床	
精神病床	222 床	222 床	176 床	46 床	222 床	0 床	
介護医療院		床	床	床	床	床	

医療法人弘生会関屋病院

地域医療構想における対応方針

令和2年1月作成

病院名：医療法人弘生会関屋病院 医療圏： 中和

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

① 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

地域における慢性期機能の役割を担っていきます。
急性期・回復期との連携をとり、かつ地域の施設・在宅とも連携しながら慢性期の医療必要度の高い患者様を受け入れていきます。

② 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

地域の医療機関との連携を行うとともに介護予防を通じ、地域の慢性期医療の役割を担っていきます。

③ ②を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

地域医療機関との連携をより充実するとともに地域の住民の方々と多角的に連携し予防医療、介護予防を行う。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

様式 2

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

① 機能毎の病床数のあり方等について

※ (a)の列は、同封している「病床数一覧」のH28年度の数値を記入してください。

		(a)		※R元年度病床機能報告等の数値を記入		(b)	(b-a)	
		<H28年度> 許可 病床数	<R元年度> 許可 病床数	稼働 病床数	非稼働 病床数(注1)			将来 (R7/2025年 度)
一般病床・療養病床	高度急性期	床	床	床	床	→	床	
	急性期	重症	床	床	床		床	床
		軽症	床	床	床		床	床
	回復期	床	床	床	床		床	
	慢性期	350床	350床	350床	0床		340床	10床
	休棟中	床	床		床		床	床
	(合計)	350床	350床	350床	0床		340床	10床
精神病床	床	床	床	床	床	床		
介護医療院		床	床	床	床	床		

香芝旭ヶ丘病院

地域医療構想における対応方針

令和2年1月作成

病院名：香芝旭ヶ丘病院

中和医療圏：

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

① 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

2025 年を見据えた地域医療構想の中で、自院が担う役割や機能につきましては、専門性が高く、良質で安心・安全な医療を今後も継続して提供して行くことが明確な使命であると考えております。

② 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかになるようご説明ください。

地域での自院の役割につきましては、専門性の高い治療や手術を提供すべく、施設整備や人員体制の強化に引き続き取り組んで参ります。そのため高度急性期医療・回復期医療・慢性期医療につきましては、同医療圏のそれを軸とする医療機関に委ねたいと考えております。

③ ②を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかになるようにご説明ください。

地域との連携推進をこれまで以上に機能させるべく、本年 5 月に『患者サポート室』を立ち上げました。これまでの前方連携に対しての迅速な対応はもちろん、今後につきましては、地域性を踏まえた医療・介護・在宅支援機能とのネットワークをしっかりと構築して後方支援の充実をこれまで以上に図ります。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

様式 2

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

① 機能毎の病床数のあり方等について

※ (a)の列は、同封している「病床数一覧」のH28年度の数値を記入してください。

		(a) 〈H28年度〉 許可 病床数	※R元年度病床機能報告等の数値を記入		(b) 将来 (R7/2025年 度)	(b-a) H28年度か らの増減	
			〈R元年度〉 許可 病床数	稼働 病床数			非稼働 病床数(注1)
一般病床・療養病床	高度急性期	0床	0床	0床	0床	0床	
	急性期	重症	50床	50床	50床	0床	0床
		軽症	49床	49床	49床	0床	0床
	回復期	0床	0床	0床	0床	0床	
	慢性期	0床	0床	0床	0床	0床	
	休棟中	0床	0床		0床	0床	
	(合計)	99床	99床	99床	0床	0床	
精神病床	0床	0床	0床	0床	0床		
介護医療院		0床	0床	0床	0床		

香芝生喜病院

地域医療構想における対応方針

令和元年12月作成

病院名：

医療圏：

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

① 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

1. 中和医療圏を中心に、高度急性期、急性期、回復期、慢性期の病床機能を担う病院を目指します。
2. 救急搬送受け入れについては、引き続き 緊急手術も含めて、24 時間、365 日断らない救急病院を目指します。
3. 小児疾患における一般外来、救急搬送受け入れ及び入院加療を充実させます。
4. 長期的に一貫したケア拠点を提供できるように、複数の医療ニーズを有する患者に対するケアを個々に合わせて調整でき、患者及び家族の自己教育及び自己管理を支援できるような、地域包括ケアの中核病院を目指します。

② 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

1. 内科系高度急性疾患（急性心筋梗塞、急性心不全、急性呼吸不全、急性腹症）は、引き続き積極的に受け入れたい。
2. 外科系高度急性疾患もこれまで以上に積極的に受け入れたい。特に脳神経外科の救急搬送受け入れは脳梗塞も含め、引き続き積極的に受け入れたい。

※耳鼻咽喉科、眼科、婦人科におきましても、常勤医不在の為、昼間、夜間を通して他院へ役割を依頼します。

③ ②を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

平成 30 年 9 月にお示ししましたネットワーク（胸痛・冠症候群ネットワークや腹症ネットワークなど）にも参加させていただくことができました。引き続き積極的に救急患者を受け入れ出来る体制の維持が必要と考えています。

また、葛城地域の救急二次輪番制を引き続き維持していく必要があり、定期的に会議を現状通り行う必要があります。また、長期的に一貫したケア拠点となるためには、療養型病院、介護老健施設、リハビリテーション病院、医師会も含めた組織構築が必要と考えます。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

様式 2

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

① 機能毎の病床数のあり方等について

※ (a) の列は、同封している「病床数一覧」のH28年度の数値を記入してください。

		(a) 〈H29年度〉 許可 病床数	※R元年度病床機能報告等の数値を記入		(b) 将来 (R7/2025年 度)	(b-a) H28年度か らの増減		
			〈R元年度〉 許可 病床数	稼働 病床数			非稼働 病床数(注1)	
一般病床・療養病床	高度急性期	10床	10床	10床	床	10床	床	
	急性期	重症	0床	45床	45床	床	90床	90床
		軽症	91床	91床	91床	床	91床	床
	回復期	0床	床	床	床	50床	50床	
	慢性期	50床	50床	50床	床	床	-50床	
	休棟中	0床	45床		45床	床	床	
	(合計)	151床	241床	196床	45床	241床	90床	
精神病床	0床	0床	0床	0床	0床	0床		
介護医療院		0床	0床	0床	0床	0床		

奈良県立医科大学附属病院
地域医療構想における対応方針

令和元年12月作成

病院名：奈良県立医科大学付属病院

医療圏：中和医療圏

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

① 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

■自施設の現状

○診療実績

- ・届出入院基本料 特定機能病院入院基本料(7対1入院基本料)
- ・患者数(H30年度実績) 外来:573,559人、入院:311,518人
- ・平均在院日数(H30年度実績) 12.42日(除精神:11.16日)
- ・病床稼働率(H30年度実績) 91.3%

○職員数:(平成31年4月1日現在)

- ・医師:267名(医員・前期研修医を除く)
- ・看護職員:1053名
- ・専門職:314名
- ・事務職員:79名

○自施設の特徴

- ・高度急性期医療が中心

○自施設の担う政策医療

県内の5疾病5事業に関して、例えば以下のとおり中心的な役割を果たしている。

- ・がん 都道府県がん診療連携拠点病院
- ・脳卒中 脳卒中センターの設立(平成29年10月)
- ・急性心筋梗塞 365日24時間緊急カテーテル受入
- ・救急医療 高度救命救急センター(3次救急)、ドクターヘリの運航
- ・災害時の医療 基幹災害拠点病院
- ・周産期の医療 県内唯一の総合周産期母子医療センター 等

■自施設の課題

- ・高度急性期・急性期医療に特化し、在院日数の短縮とさらなる逆紹介の推進が必要
- ・医療需要の変化(高齢化に伴う疾病の変化)への対応
- ・県内医療機関との役割分担とネットワーク構築
(紹介、逆紹介の推進によるスムーズな患者移動)
- ・経営改善(設備投資等のコストが経営を圧迫。効率的な運営体制の確立が必要)
- ・医療従事者の働き方改革
- ・県内唯一の医育機関としての医療人育成

■地域において今後担うべき役割

○5疾病、5事業を含む、県内のあらゆる医療の高度急性期・急性期を担う

○地域包括ケアシステム構築に向けた取り組み

- ・総合診療科に在宅医療部門を立ち上げて次世代指導者養成システムを構築
- ・在宅看護に関する看護師特定行為研修の実施により特定看護師を養成
- ・休日・夜間の在宅医療を地域全体で支える仕組みづくりのコーディネート
- ・地域中核病院との連携協定締結による積極的な患者転院の実施

○その他

- ・新専門医制度に対応した人材の育成
- ・南奈良総合医療センターをはじめとした地域医療機関との機能分担、連携、人的支援の推進

■今後持つべき病床機能

・高度急性期病床及び急性期病床

② 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

回復期・慢性期の機能は担わない。

③ ②を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

地域の医療機関との紹介・逆紹介の推進

- ・超高齢化の進展に伴う人口構造・疾病構造・医療需要の変化等、本地域における社会ニーズの急激な変化に対応し、健全な経営基盤のもと、患者さんに良質な医療サービスを提供するためには、地域完結型の医療体制を実現する必要があります。
- ・そのためには、地域の医療機関の一層の機能分化と緊密連携が必須と考えます。
- ・当院は、今後も5疾病5事業をはじめとする県内のあらゆる医療について、高度先進医療の提供など、県民の最終ディフェンスラインとしての役割を果たしていきます。
- ・そして、急性期を脱した患者さんの医療を地域の医療機関の皆様にご担っていただきたいと考えており、これまで以上に紹介逆紹介や診療科毎のネットワーク構築を推進し、WIN-WIN の関係を実現していきたいと考えています。

・具体的には、

1. 紹介患者が当院を初診受診した旨の紹介元への報告の徹底、紹介元以外へ逆紹介する際にも紹介元へ報告を行うなど、丁寧な情報提供に取り組んでいます。

当院は紹介患者の診療を基本としており、現在のところ、高い紹介率を維持していますが、紹介状をお持ちの患者さんが、診察の予約なしに来院されるケースも多数あります。

また、当院は特定機能病院として、高度で先進的な医療の提供、また、地域医療計画においては高度・重症急性期患者の診療を役割としており、より多くの方にそういった医療を提供するためにも、スムーズな診察を行える初診予約を推進しています。

当院では、緊急患者や予約患者を優先的に診察せざるを得ないことから、紹介状はご持ちであっても診察の予約をされずに受診される場合、相当な待ち時間となり、結果的に大変な負担をおかけすることになります。

さらに、予約のない患者さんの診察を行うことにより、予約患者の診察時間の遅れや医師の診療計画への影響など、病院全体の運営や医師の働き方改革にも逆行することにつながります。

初診予約の推進のため、令和元年度からは連携登録医からの紹介患者からの直接予約を可能とし、従来の FAX やオンライン予約システムの活用とあわせ、当院受診の際は必ず事前予約をとっていただくよう各医療機関には地域医療連携室だより等を活用して呼びかけを行っています。

当院に課せられた役割を果たし、能力を十分に発揮することができるよう、完全予約制の実現を目標に、今後も引き続き事前予約制度の推進に取り組んでいきます。

2. 急激な高齢社会の到来をふまえ、地域包括ケアシステムの構築が急務となる中、当院と各中核病院は、互いのメリットを活かし、連携を強化していく必要があります。

また、相互の紹介・逆紹介をスムーズに行うため、各医療機関の特性を生かした機能性のある「診療科別の病病連携ネットワーク構築」に取り組み、医療圏内全体で患者ニーズに応じた質の高い医療の提供を実現していく必要があります。

そのための施策として、各機関の実務者間の情報共有と協議の場を、これまで以上に積極的に提供していきたいと考えています。

退院や転院の調整においては、当院における治療が完了した後も退院できず、待機患者の受け入れに支障となるケースがあります。独居老人や生活困窮者といった社会的問題を抱える患者について、地域の各施設の役割や機能に応じた受け入れがスムーズに行われるシステムの構築に向け、県全体で検討する必要があります。

そして、誰もが必要な時に適切な場所で最良の医療が受けられ、治療後はスムーズに安心して生活の場に戻れるよう、保健・医療・福祉・介護の機動的な連携が必要であり、当院はその中心的な役割を果たしていく責任があると考えています。

様式 2

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

① 機能毎の病床数のあり方等について

※ (a)の列は、同封している「病床数一覧」のH28年度の数値を記入してください。

		(a) 〈H28年度〉 許可 病床数	※R元年度病床機能報告等の数値を記入		(b) 将来 (R7/2025年 度)	(b-a) H28年度か らの増減	
			〈R元年度〉 許可 病床数	稼働 病床数			非稼働 病床数(注1)
一般病床・療養病床	高度急性期	460床	423床	402床	21床	423床 ▲37床	
	急性期	重症	313床	367床	356床	11床	367床 54床
		軽症	67床	66床	65床	1床	66床 ▲1床
	回復期	0床	0床	0床	0床	0床 0床	
	慢性期	0床	0床	0床	0床	0床 0床	
	休棟中	35床	19床		19床	19床 ▲16床	
	(合計)	875床	875床	823床	52床	875床 0床	
精神病床	108床	108床	104床	4床	108床 0床		
介護医療院		0床	0床	0床	0床 0床		



平成記念病院

地域医療構想における対応方針

令和2年2月作成（修正確定版）

病院名：平成記念病院

医療圏：中和

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

- ① 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について
1. 【急性期＜重症急性期＞（180床）回復期（120床：内訳 回復期リハビリ病床 90床・地域包括ケア病床 30床を維持・運営する】
なお、将来状況をみて重症急性期 30床を地域包括ケア病床に変更する場合もある。
 2. 当院の特色である救急医療（2，5次救急までを対応する）については、圏域外受入も含め今後も対応していく。それとともに、中和医療圏における重症腹症ネットワークグループと協議し現在より受入日を増やしていく。
 3. 現在対応している、脳梗塞 t-PA 療法などに 24 時間対応出来るよう、現状の重症部屋の整備は完了した。今後は HCU (High Care Unit) として救急医療の更なる強化の為、運用を考えている。(人員の整備等については特に医師を検討中)。
機能別の病床数のあり方としては、重症急性期 180 床（高度急性期：10 床、重症急性期：170 床）での急性期医療を行います。
 4. 高度急性期及び急性期など他院からの受入を促進するために回復期リハ病床（90床）並びに地域包括ケア病床（30床）を維持する必要性があり回復期病床は 120 床を維持します。ただし、奈良医大をはじめ周辺の医療状況の変化により状況が変われば重症急性期 30 床を地域包括ケアに転換することも計画の一環として検討中。
従って総病床数は 300 床が必要であり現状維持とします。
 5. 現在の消化器内視鏡センターを拡張し機能を強化しましたが、更に独立した内視鏡センターを立ち上げ（拡張）、特に消化管出血、急性腹症への対応力を推進し現在実施している内視鏡手術（上部・下部）の医療を拡大して行きますが、大量の緊急輸血を有する症例は対応不可能なので三次へお願いします。なお、手術室の拡張、充実も推進していきます。
 6. “かかりつけ医制度”の推進を図るため、ICTによる地域医療連携ネットワークの構築及び在宅医療の後方支援に貢献できる病院を目指して行きます。開放型病床の設置、地区医師会の在宅医療部会にも参加していますが今後も継続します。

7. 中和医療圏において、歯科・口腔外科は奈良県立医科大学附属病院と当院しかなく、その他の地域における役割は非常に大きいと考えます。

診療内容は口腔顎顔面の良性および悪性腫瘍、口腔感染症、口腔インプラント、顎関節症など歯科口腔領域の特殊な疾患や顎顔面の外傷など対応しています。これら疾患に対して全身麻酔下での手術を含めた治療が可能です。また他科の院内入院患者の周術期口腔管理や口腔健康管理に対応しています。

地域医療の各病院におかれましては、これまで同様に患者のご紹介やご相談をいただければ幸いです。

② 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかにできるようご説明ください。

1. 現在も受入れを願っている三次救急の患者は高度急性期医療機関で引き続き受入をお願いするとともに、当院は後方支援病院として協力します。
今後も、急性冠動脈疾患は奈良医大をはじめ近隣病院での受入をお願いします。
2. 回復期リハビリテーション病棟（90床）は施設基準1を算定し、リハビリテーション支援ロボット（ウェルウォーク、各種歩行アシスト）を導入し、重症急性期の超急性期より機能改善を実施し、良好なるリハビリ効果を得ております。
今後も継続していきます。
ただし、慢性期のリハビリテーションについては、他病院・他施設で今後お願いします。
3. 脳梗塞t-P/A療法も現在脳神経内科及び脳神経外科で対応しています。
IVRが必要なケースにおいては奈良医大にお願いします。
なお出来ればIVRが可能な医師の派遣をお願いします。

③ ②を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにできるようにご説明ください。

1. 地域医療連携室を介して各病院間の業務連携及び入退院の調整を今後も推進していきます。参考資料として当院の実績（H30年11月～R1年10月）をお知らせします。
2. 奈良県「中南和及び東和医療圏の一部における重症腹症（腹痛・吐下血）救急患者受け入れネットワーク」に参加している。
3. 橿原市救急医療体制における橿原地区二次救急輪番体制病院として参加している。
4. 奈良医大での高度急性期を脱した患者の受け入れを積極的に行うため協定を結んでいる。
5. 橿原地区医師会の在宅医療連携病院として後方支援を行っている。

(参考資料)

紹介元病院と件数(一般病棟)			逆紹介先病院と件数(救急外来より専門医へ転送)		
県内上位3病院	奈良医大	126件	県内上位3病院	奈良医大	44件
	香芝生喜病院	7件		高井病院	4件
	国保中央病院	3件		済生会中和病院	2件
その他県内病院		9件	その他県内病院		6件
県外病院		7件	県外病院		1件
合計		152件	合計		57件
* 奈良医大 126件中には呼吸器内科 80件を含む					
紹介元病院と件数(地域包括ケア病棟)			逆紹介先病院と件数(地域包括ケア病棟)		
県内上位3病院	奈良医大	26件	県内上位3病院	橿原リハビリテーション病院	6件
	香芝生喜病院	3件		奈良厚生会病院	3件
	南奈良医療センター	1件		国保中央病院	2件
県外病院		1件	その他県内病院		8件
合計		31件	合計		19件
紹介元病院と件数(回復期リハ病棟)			逆紹介先病院と件数(回復期リハ病棟)		
県内上位3病院	奈良医大	73件	県内上位3病院	橿原リハビリテーション病院	36件
	香芝生喜病院	5件		関屋病院	7件
	南奈良医療センター	5件		奈良厚生会病院	6件
その他県内病院		3件	その他県内病院		26件
県外病院		5件	合計		75件
合計		91件			
当院満床等で受入困難時に平成まほろば病院(関連病院)が受け入れた件数		80件			

(その他)

第二回高度・重症急性期病院意見交換会(令和元年10月16日開催)について

・地域医療構想の原点は質の高い医療をいかに提供するには、どの部分をどこの病院が担いどう連携するのかを議論することと考えます。

意見交換会ではこの部分が不明瞭であり、連携推進などの取り組みについてはSWOT分析による自院の強み・弱みを明らかにした上での議論が必要と考え現在取組中です。

様式 2

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

① 機能毎の病床数のあり方等について

※ (a)の列は、同封している「病床数 覧」のH28年度の数値を記入してください。

		(a) 〈H28年度〉 許可 病床数	※R元年度病床機能報告等の数値を記入		(b) 将来 (R7/2025年 度)	(b-a) H28年度か らの増減		
			〈R元年度〉 許可 病床数	稼働 病床数			非稼働 病床数(注1)	
一般病床・療養病床	高度急性期	0床	0床	床	床	10床	+10床	
	急性期	重症	180床	180床	180床	0床	170 or 140 床	-10 or -40 床
		軽症	床	床	床	床	床	床
	回復期	120床	120床	120床	0床	120 or 150 床	0 or +30 床	
	慢性期	床	床	床	床	床	床	
	休棟中	床	床	/	床	床	床	
(合計)		300床	300床	300床	0床	300床	0床	
精神病床		床	床	床	床	床	床	
介護医療院		/	床	床	床	床	床	

平成まほろば病院

地域医療構想における対応方針

令和元年 12 月作成

病院名：平成まほろば病院

医療圏：中和医療圏

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

① 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

当院は現在、回復期リハビリテーション病棟入院料を算定している回復期リハビリテーション専門病院として、「家庭復帰」「社会復帰」をチーム医療で支援しております。

出来るだけ早期から、集中的なリハビリテーションを取組むため、地域の急性期病院との連携を強化しております。また、リハビリロボットを多数導入し、リハビリ栄養に着目した取り組みを行うなどリハビリテーションの効果を高める努力を続けております。

加えて、退院後のリハビリテーションに積極的に関与するため、「外来リハビリテーション」「訪問リハビリテーション」に取り組んでおります。

当院は今後も引き続き、当地域において、「回復期機能」の役割を担っていきます。

なお、急性期病院からの患者の受入だけではなく、在宅医療に目を向け、地域の診療所、介護施設との連携を強化し、地域住民の軽症急性期の患者の受入、在宅復帰に積極的に取り組み、地域包括ケアシステムにおける役割を充実させる方針です。

② 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり

明らかになるようご説明ください。

当院は、高度急性期、急性期病院から急性期を経過した患者の早期受入を行い、地域における「回復期機能」の役割を果たします(高度急性期、急性期機能は担いません)。

また、地域包括ケアシステム機能を促進する、在宅医療分野を充実し、軽症急性期患者の受入れ、在宅復帰を担う「回復期機能」の役割を果たします。

③ ②を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかになるようご説明ください。

地域内の高度急性期病院(奈良県立医科大学付属病院)、重症急性期病院(平成記念病院他)との連携を更に強化します。

中和医療圏に隣接した東和医療圏、南和医療圏の重症急性期病院(南奈良総合医療センター、天理よろづ相談所病院等)との連携を強化し、急性期を経過した患者の早期受入、在宅復帰機能を発揮します。

また、近隣で在宅医療に取り組んでいる診療所(うねびクリニック等)との連携を強化し、急変患者の受入など在宅医療のバックアップ機能を強化します。

近隣の介護施設との連携を強化し、入所者急変時の受入、施設への早期退院など、地域包括ケアシステムの機能がより発揮される役割を担っていく方針です。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

様式 2

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

① 機能毎の病床数のあり方等について

※ (a) の列は、同封している「病床数一覧」のH28年度の数値を記入してください。

		※R元年度病床機能報告等の数値を記入					(b) 将来 (R7/2025年 度)	(b-a) H28年度か らの増減	
		(a) <H28年度> 許可 病床数	<R元年度> 許可 病床数	稼働 病床数	非稼働 病床数(注1)				
一般病床・療養病床	高度急性期	床	床	床	床	→	床	床	
	急性期	重症	床	床	床		床	床	床
		軽症	床	床	床		床	床	床
	回復期	116床	116床	116床	0床		116床	0床	
	慢性期	床	床	床	床		床	床	
	休棟中	床	床		床		床	床	
	(合計)	116床	116床	116床	0床		116床	0床	
精神病床	床	床	床	床	床	床			
介護医療院		床	床	床	床	床			



万葉クリニック

地域医療構想における対応方針

令和元年12月作成

病院名：万葉クリニック

医療圏：中和医療圏

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

① 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

- ・地域における精神疾患（統合失調症・うつ病等の気分障害等）や認知症疾患に対する医療を担う。

② 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかにできるようご説明ください。

- ・総合診療科病院と連携し、身体疾患の治療を一般医療で受けている患者の精神疾患・認知症疾患の治療を担う。

③ ②を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにできるようにご説明ください。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

様式 2

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

① 機能毎の病床数のあり方等について

※ (a)の列は、同封している「病床数一覧」のH28年度の数値を記入してください。

		(a) 〈H28年度〉 許可 病床数	※R元年度病床機能報告等の数値を記入		(b) 将来 (R7/2025年 度)	(b-a) H28年度か らの増減	
			〈R元年度〉 許可 病床数	稼働 病床数			非稼働 病床数(注1)
一般病床・療養病床	高度急性期	床	床	床	床	床	
	急性期	重症	床	床	床	床	床
		軽症	床	床	床	床	床
	回復期	床	床	床	床	床	
	慢性期	床	床	床	床	床	
	休棟中	床	床		床	床	
	(合計)	床	床	床	床	床	
精神病床	240 床	240 床	240 床	0 床	240 床	0 床	
介護医療院		床	床	床	床	床	



檀原リハビリテーション病院 地域医療構想における対応方針

令和元年 12 月作成

病院名： 榎原リハビリテーション病院 医療圏： 中和

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

① 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

慢性期機能を役割と考えています。

② 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり
明らかになるようご説明ください。

高度急性期機能、急性期機能は担わない。

③ ②を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の
病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかになるようにご説明ください。

地域における連携推進に向け、職員を増員し連携がよりスムーズに行くように
取り組みます。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

様式 2

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

① 機能毎の病床数のあり方等について

※ (a) の列は、同封している「病床数一覧」の H28 年度の数値を記入してください。

		※R 元年度病床機能報告等の数値を記入				(b) 将来 (R7/2025年 度)	(b-a) H28 年度か らの増減	
		(a) <H28 年度> 許可 病床数	<R 元年度> 許可 病床数	稼働 病床数	非稼働 病床数(注1)			
一般病床・療養病床	高度急性期	床	床	床	床	床	床	
	急性期	重症	床	床	床	床	床	床
		軽症	床	床	床	床	床	床
	回復期	床	床	床	床	床	床	
	慢性期	205 床	205 床	205 床	0 床	→ 205 床	0 床	
	休棟中	床	床		床	床	床	
	(合計)	205 床	205 床	205 床	0 床	205 床	0 床	
精神病床	床	床	床	床	床	床		
介護医療院		床	床	床	床	床		



医療法人橿原友紘会

大和橿原病院

地域医療構想における対応方針

令和元年 12 月作成

病院名： 大和橿原病院

医療圏： 中和医療圏

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

- ① 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について
- ・ 橿原市を中心とした、地域の中核病院として地域医療を担う。
 - ・ 救急告示病院であり、橿原市の二次救急輪番病院として救急医療を担う。
- 具体的には
- 内科
急性心筋梗塞・経皮的カテーテル心筋焼灼術に特化し24時間365日体制を目指す。
- 整形外科
膝関節・股関節の疾患を中心に、手の外科・外傷骨折手術の現行以上の充実を目指す。
- 以上のような診療内容の特性により、内科、整形外科の急性期医療を担う地域の中核病院を目指す。

② 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかになるようご説明ください。

- ・ 近隣には平成記念病院・平尾病院・自院の各病院で、専門とする診療科が異なり、各病院間で患者さんの紹介を円滑に実行している。よって、有効な役割分担が行われていると考えており、縮小すべき役割などについては見当たらない。

③ ②を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかになるようにご説明ください。

- ・ 心臓血管装置を2021年までにもう一機購入し、心臓血管センターを設置する。
- ・ 地域医療機関からの紹介が多い、人工関節センターを強化すると共に、橿原市以外の周辺地域への一層の周知徹底を行う。
- ・ 人工透析センターの地域医療機関への一層の周知を図る。

以上のような機能の充実を踏まえ、自院のみならず、近隣各病院特性をより強化することで広範囲にわたる救急患者の受け入れ体制の細分化の推進を図るべきだと考える。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

様式 2

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

① 機能毎の病床数のあり方等について

※ (a)の列は、同封している「病床数一覧」のH28年度の数値を記入してください。

		(a) 〈H28年度〉 許可 病床数	※R元年度病床機能報告等の数値を記入		(b) 将来 (R7/2025年 度)	(b-a) H28年度か らの増減	
			〈R元年度〉 許可 病床数	稼働 病床数			非稼働 病床数(注1)
一般病床・療養病床	高度急性期	床	床	床	床	床	
	急性期	重症	101床	101床	101床	0床	101床
		軽症	48床	48床	48床	0床	48床
	回復期	床	床	床	床	床	
	慢性期	床	床	床	床	床	
	休棟中	床	床		床	床	
	(合計)	149床	149床	149床	0床	149床	
精神病床	床	床	床	床	床	床	
介護医療院			床	床	床	床	



医療法人 桂会 平尾病院
地域医療構想における対応方針

令和元年 12 月作成

病院名：平尾病院

医療圏：中和

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

- ① 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について
得意とする診療科の診療体制の整備を進めたい。そして、自院の不得意な分野は、得意な病院に紹介を行い、地域で医療を行いたいと考える。
重症急性期として考えている泌尿器科について、365日24時間の救急体制を今以上に確立し地域医療の一端を担いたいと考えている。一方、軽症急性期として幅広く内科疾患や外科疾患の対応も行いたいと考えており、開業医や介護施設からの紹介も幅広く一般病棟並びに地域包括ケア病床で対応したいと考えている。自院が対応すべき疾患、診療科の重症・軽症の両急性期の診療を受け持つ方向です。
- ② 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について
※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかにできるようご説明ください。
現在、橿原地区にある平成記念病院・大和橿原病院・当院は、それぞれ得意とする診療科も異なり、各病院間での患者紹介も円滑に行われています。また、橿原、高取、明日香地区の二次輪番体制においても、3病院並びに行政（橿原市）が定期的に連絡会議を通じて協力関係にあり、今後もこの関係を堅持する意向であります。
当院として今後は中和医療圏を含む奈良県全域において、現在以上に泌尿器科救急（365日24時間の救急体制）を確立し、奈良県や奈良医大に泌尿器科としての診療実績や今後の地域医療構想の方向性等も考慮して頂き、奈良県や奈良医大の協力なども得て、現在以上に医師の傾斜配置を行い医師数を増やす方向で救急体制の強化により特色を出して行きたいと考えています。
- ③ ②を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について
※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにできるようにご説明ください。
地域の病院間でそれぞれの得意分野（診療実績の伴う）を活かした医師の傾斜配置を行い、医療資源の有効活用を図るべきだと考えています。
中和医療圏における橿原地区二次輪番体制においても、上記3病院以外に中井記念病院、吉本整形外科・外科病院の協力を得て、365日輪番体制ができていますが、参加病院が増えれば診療体制がより充実され、各病院の負担も軽減されるので、各医療圏で検討してほしいと考えています。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

様式 2

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

① 機能毎の病床数のあり方等について

※ (a)の列は、同封している「病床数一覧」のH28年度の数値を記入してください。

		※R元年度病床機能報告等の数値を記入				(b) 将来 (R7/2025年 度)	(b-a) H28年度か らの増減	
		(a) <H28年度> 許可 病床数	<R元年度> 許可 病床数	稼働 病床数	非稼働 病床数(注1)			
一般病床・療養病床	高度急性期	床	床	床	床	床	床	
	急性期	重症	47床	47床	47床	床	床	床
		軽症	52床	52床	52床	床	床	床
	回復期	床	床	床	床	床	床	
	慢性期	22床	22床	22床	床	床	▲22床	
	休棟中	床	床		床	床	床	
	(合計)	121床	121床	121床	床	99床	▲22床	
精神病床	床	床	床	床	床	床		
介護医療院		床	床	床	22床	22床		



錦織病院

地域医療構想における対応方針

令和元年(2月作成)

病院名：錦織病院

医療圏： 中和

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

① 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

別紙参照下さい。

② 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり
明らかになるようご説明ください。

別紙参照下さい。

③ ②を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の
病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかになるようにご説明ください。

別紙参照下さい。

※行が足りない場合は適時、行を挿やしてください。複数枚になっても結構です。

様式 1 - 1

- ① 過去から現在に至るまで、そして未来に行っても変わることなく、地域の医療機関と密接なる連携を保ちつつ、医療を進めている。

これまで当院は特に消化器疾患と肛門疾患において地域医療に携わってきた。特に上部消化管内視鏡検査は年間 1500 件、下部消化管件数も年間 1500 件を超えている。下部消化管内視鏡検査に関しては治療内視鏡も年間 500 件行っている。近隣の医院からの紹介患者も多く、特に市検診や人間ドックで便潜血陽性患者や胃透視で異常を指摘された症例の 2 次検診精査機関として重要な役割を果たしていると自負している。

肛門疾患（痔核、痔瘻、裂肛、肛門狭窄、直腸脱、膿皮症、直腸瘤等）に関しては専門性の高い診療を行っており、年間の新患患者数は 2000 例を超え、奈良県内一円から来院があり、最近では京都府・三重県からの患者数も増加している。年間の手術件数も 500 例以上行っており、高度の内痔核や複雑痔瘻といった肛門専門病院でのみ対応できる疾患も数多く施行している。

また機能性の肛門疾患、特に便失禁や排便機能障害患者についても肛門機能特殊検査や肛門機能訓練を奈良県内で唯一積極的に行っている。

IBD（炎症性腸疾患）、取り分け潰瘍性大腸炎、クローン病に関しては、外来患者数は約 140 名が通院されており、生物学的製剤を含めた高度な内科治療も行っている。

また IBS（過敏性腸症候群）や FD（機能性ディスベプシア）等の機能性消化管障害患者も多数治療しており、治療範囲を広げて地域医療に貢献している。

- ② これまで地域医療機関から多数の患者紹介を積極的に受け入れ診断、治療を行ってきた。また当院で治療や診断が困難な症例に関しては、2 次病院・3 次病院への紹介も積極的かつ速やかに行っており、病診連携、病病連携を今後も進めていきたい。

I) 上部・下部消化管内視鏡検査、超音波検査、CT 検査、肛門特殊機能検査による診断と治療を行っている。また肛門疾患に関してはあらゆる疾患の診断・治療・手術を行っており、関西地区を代表する肛門病院としてこれからも地域医療に貢献したいし、紹介患者数も更に増加することを期待する。

II) 手術を要する癌疾患や重症の IBD 等は、これまでも奈良県立医科大学附属病院を中心とする基幹病院と密に連絡をとり、紹介を行ってきた。また心疾患や呼吸器疾患や脳血管疾患に関しても当院は専門ではないため近隣の高次医療機関へ今後も積極的に紹介したい。

Ⅲ) 当院は現在常勤医が3名で輸血や緊急の血液検査もできないため、夜間・休日の救急対応は人目的にもハード面からも困難である。

Ⅳ) 内視鏡や手術といった、急性期医療で現在「手一杯」の状況であり、訪問診療や看取り医療に関しては他の医療機関と連携していきたい。

Ⅴ) 今後、糖尿病内科専門医兼内分泌内科専門医の常勤を数年後から予定しており、糖尿病内分泌内科分野でも地域医療に貢献の幅を広げていきたい。

- ③ 当院は平素から地域医療において病診連携、病病連携の推進を極めて積極的に取り組んでいる。特に急性期医療に関しては、病める患者さんにとって今一番なすべき医療は何であるかを十分考え、医療の機能分担からみて、より高度な専門知識を有している病院に紹介しているのが現状である。ここで重要なことは、当院との関連病院は勿論のこと、病診の関係も色々な面でコミュニケーションをにわかの関係ではなく、常日頃から取り合うことが最重要と考える。

それには医師会活動や勉強会や研究会等に積極的に参加し、医師同士が顔を知り合うことが何より大切と考える。それにより紹介患者が存在した場合、有用に克つ迅速に患者の紹介や往来が可能になると考える。

奈良県立医科大学附属病院、済生会中和病院、平成記念病院、平尾病院、大和橿原病院、天理よろづ病院、国保中央病院、神戸大学医学部附属病院、大阪国際がんセンター、大阪医科大学附属病院 京都大学医学部附属病院

これらの病院に関しては相当数の手術患者や救急を要する患者を紹介している。

様式 2

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

① 機能毎の病床数のあり方等について

※ (a)の列は、同封している「病床数一覧」のH28年度の数値を記入してください。

		※R元年度病床機能報告等の数値を記入				(b) 将来 (R7/2025年 度)	(b-a) H28年度か らの増減	
		(a) <H28年度> 許可 病床数	<R元年度> 許可 病床数	稼働 病床数	非稼働 病床数(注1)			
一般病床・療養病床	高度急性期	床	床	床	床	床	床	
	急性期	重症	床	床	床	床	床	床
		軽症	30 床	30 床	30 床	0 床	30 床	0 床
	回復期	床	床	床	床	床	床	
	慢性期	床	床	床	床	床	床	
	休棟中	床	床		床	床	床	
	(合計)	床	床	床	床	床	床	
精神病床	床	床	床	床	床	床		
介護医療院		床	床	床	床	床		



飛鳥病院

地域医療構想における対応方針

令和元年 12 月作成

病院名： 飛鳥病院 医療圏： 中和医療圏

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

- ① 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について
 当院における経営戦略とは、「いかに地域にとって必要な病院になりうるか」の戦略であり、
 まさに地域包括ケアシステムを支える「面倒見の良い病院」を目指しております。

(1) 当院が目指す医療・病床機能について

精神科病床においても一般病床同様に機能分化が促進されていますが、当院が目指す医療・
 病床機能については下記の通り、(i)「疾患カテゴリー」と(ii)「病期」の2方向からの
 検証・考察に拠ります。

(i) 多様な疾患・病態に対応できる医療機能の提供

当院は従前より多様な疾患・病態への対応が可能な体制にあり、このことにおいてこそ
 「地域に根差した精神科病院としての専門性・特性を発揮できるもの」と考えています。
 立地上においても、県の拠点機能病院である奈良県立医科大学付属病院に隣接すること
 から、引き続き拠点病院との連携・強化に努めると共に、輪番病院として緊急入院への対
 応や、一次・二次救急病院として幅広い精神科医療を提供できるように、その役割を担っ
 ていきたいと考えています。

(ii) 病期を踏まえた病床機能の提供

収益上の観点からも、急性期への対応能力は備えたいと考えています。

また、高齢者の増加を踏まえるならば、高齢者・認知症患者への対応能力を備えた病院運
 営も必須であると受け止めています。

同時に、精神科病院を運営する以上は、急性期に力点を置くか置かないかにかかわらず、
慢性期重症患者への対応も避けられないものと考えています。

上記(i)における医療機能と(ii)における病床機能を踏まえて、当院が「2025年」に向け
描いている病棟構成は、精神一般、精神療養、精神科急性期、認知症治療病棟の4タイプの構
 成が、疾患カテゴリー、病期、合併症の有無を考慮しても、多様な疾患・病態に対する状況対応
 力が高いと考えております。

② 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

・上記①にて記載の通り

③ ②を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

・上記①にて記載の通り

様式 2

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

① 機能毎の病床数のあり方等について

※ (a)の列は、同封している「病床数一覧」のH28年度の数値を記入してください。

		※R元年度病床機能報告等の数値を記入				(b) 将来 (R7/2025年 度)	(b-a) H28年度か らの増減	
		(a) <H28年度> 許可 病床数	<R元年度> 許可 病床数	稼働 病床数	非稼働 病床数(注1)			
一般病床・療養病床	高度急性期	床	床	床	床	床	床	
	急性期	重症	床	床	床	床	床	床
		軽症	床	床	床	床	床	床
	回復期	床	床	床	床	床	床	
	慢性期	床	床	床	床	床	床	
	休棟中	床	床	床	床	床	床	
	(合計)	床	床	床	床	床	床	
精神病床	388床	388床	330床	58床	床	床		
介護医療院		床	床	床	床	床		

大和高田市立病院

地域医療構想における対応方針

令和元年 12 月作成

病院名：大和高田市立病院 医療圏：中和医療圏

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

① 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

当院は、中和医療圏にある320床の自治体病院であり、地域の基幹病院として、病病連携、病診連携、病診連携及び医療と介護の連携をまとめる立場にあると考えています。

ただし、常勤医師の揃っていない診療科が存在するため、当該診療科の急性期疾患については、奈良県立医大に診療を依頼せざるえない状況にあります。

当院の将来のあり方について、2019年9月に予算措置を行いコンサル業者の選定を予定しております。また、次年度には将来のあり方について委員会を立ち上げ、今後自院が担う地域での役割や機能、病院経営の形態、建替え等について、コンサル業者を含め協議検討し、当院の将来のあり方を具体化し事業を進めて行く予定です。

② 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり
明らかになるようご説明ください。

基本的には、当院の全診療科とも主に急性期疾患に対応しますが、全320床中51床の地域包括ケア病棟を有しており、急性期以外にも院内外の回復期症例にも対応する方針です。

ただし、当院常勤医師が不在の急性期症例は当院での診療が不可であるため、奈良県立医大と連携し、救急搬送で対応しています。当該診療科の常勤医師が確保できない疾患については、今後もこの状況が続くと考えられます。

一方、慢性期疾患や急性期・回復期後の治療は、後方支援病院と連携し、今後も他施設に治療を依頼することになると考えています。

- ③ ②を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について
※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の
病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかになるようにご説明ください。

2018年4月から、葛城地区の6病院が協力し、二次輪番を開始しました。いずれも医師数の少ない病院であり、1病院では十分な救急医療を担うことが難しい状況にあります。輪番開始とともに救急応需率や需要に要する時間が短縮される傾向にあり、奈良県立医大のバックアップや救急隊の協力もあり葛城地区の救急体制は大幅に改善しております。

将来的には、当院の医師を十分に確保し、開業医との病診連携を進めるだけでなく、在宅医介護施設との連携を強化し、医療と介護の連携も促進したいと考えています。

後方支援については、現在のところ当院には綿密に連携できる病院はなく、在宅からの入院では、退院ができず困る症例が見受けられます。今後、高齢者が増加することを考慮すると、後方支援病院の確保が重要と考えます。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

様式 2

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

① 機能毎の病床数のあり方等について

※ (a)の列は、同封している「病床数一覧」のH28年度の数値を記入してください。

	(a) 〈H28年度〉 許可 病床数	※R元年度病床機能報告等の数値を記入		(b) 将来 (R7/2025年 度)	(b-a) H28年度か らの増減	
		〈R元年度〉 許可 病床数	稼働 病床数			非稼働 病床数(注1)
一般病床・療養病床	高度急性期	床	8 床	8 床	床	床
	重症	249床	241 - 249床	241 - 249床	床	0床
	急性期 軽症	71床	20床	20床	床	△51床
	回復期	床	51床	51床	床	51床
	慢性期	床	床	床	床	床
	休棟中	床	床	床	床	床
	(合計)	320床	320床	320床	床	320床
精神病床	床	床	床	床	床	
介護医療院		床	床	床	床	

社会医療法人健生会 土庫病院
地域医療構想における対応方針

令和元年 12 月作成

病院名：土庫病院

医療圏：中和

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

① 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

・急性期病院としての当院の特徴を活かした総合診療で、地域住民に求められる診療を行う。とりわけ葛城輪番を活かした地域の患者に責任をもつ救急医療、呼吸器、循環器、糖尿病などの慢性疾患などを軸に、幅広い患者を受け入れ、入院から退院後までを診られる急性期病院としての役割を果たす。

・地域の患者に責任をもつ立場で、地域の診療所との病診連携に積極的に取り組む。

・奈良県下でも特徴ある大腸肛門病疾患の診断、治療に貢献する。IBDなど難病についても難病ネットワークに加盟して責任を果たしていく。

・小児輪番に参加し、中南和地区の小児救急医療を担う。また病児保育所をもつ法人として、子育て支援と働く父母を応援する。またこどもの貧困問題とも向き合い、社会医療法人としての役割を果たしていく。

・初期研修医療機関として、地域医療に情熱をもつ医師養成を行う。また奈良県で医療を継続しようと決意できるよう、研修の充実と、研修環境の整備を行う。

・当院の強みである幅広い患者を受け入れることができる総合診療、大腸肛門病疾患を始めとする内視鏡も含めた消化器内科医療、小児医療、病理診断などは積極的に地域からの患者受入や病病連携での協力体制の構築を行う。また標榜していない科で当院で取り扱うことの多い疾患等については近隣の医療機関との病病連携を積極的に活用し患者紹介などを行う。とりわけ大和高田市立病院をはじめとする大和高田市内の病院群、香芝、御所などの葛城地区の病院群とは積極的な連携が実施できるよう、葛城輪番で構築したつながりを活かし、地域医療を病院群全体で検討し、よりよい医療供給体制の構築を医療機関の協力共同のもとで実施していく。

・生活困難者の医療を保障するため、無料低額診療を推進する。県下の無料低額診療事業を実施している病院とも連携し、セーフティーネットを強化して医療を受ける権利を保障し、手遅れ死亡事例などを減らしていく。

・当院の弱点である医師体制については、働き方の検討を今後も行い、早急に時間外労働の是正を行っていく。

② 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり
明らかになるようご説明ください。

当院の強みである慢性疾患を中心とした総合診療、大腸肛門病疾患、小児科、病理診断については、より取り組みを強化して、地域医療に貢献していきたい。また救急については、葛城輪番を軸に地域の在宅を中心に受け入れの強化をはかる。

現在行っている医療については、地域に貢献していると考えているため、特に縮小することは検討していない。

- ③ ②を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について
※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の
病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかになるようにご説明ください。

診療科単位での連携ではなく、同じ診療科であっても得意分野での連携を図りたい。具体的にいえば、当院は消化器外科とりわけ大腸肛門疾患と、消化器内科を中心とした内視鏡治療や化学療法については今後も継続して取り組みたい。

現在のところこれらの連携協定はなく、今後は葛城輪番で構築した関係を軸に、葛城地区を中心に、奈良県内での病病連携を進めたい。

連携推進には既存のネットワークのつながりを活かす。葛城輪番や小児輪番、また地域の在宅ネットワークにも参加していきたい。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

様式 2

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

① 機能毎の病床数のあり方等について

※ (a)の列は、同封している「病床数一覧」のH28年度の数値を記入してください。

	(a) 〈H28年度〉 許可 病床数	※R元年度病床機能報告等の数値を記入			(b) 将来 (R7/2025年 度)	(b-a) H28年度か らの増減
		〈R元年度〉 許可 病床数	稼働 病床数	非稼働 病床数(注1)		
一般病床・療養病床	高度急性期	床	床	床	床	床
	重症	151床	151床	151床	0床	0床
	急性期	床	床	床	床	床
	軽症	床	床	床	床	床
	回復期	48床	48床	48床	0床	0床
	慢性期	床	床	床	床	床
	休棟中	床	床	床	床	床
	(合計)	199床	199床	199床	床	床
	精神病床	床	床	床	床	床
	介護医療院	床	床	床	床	床

中井記念病院

地域医療構想における対応方針

令和元年 12 月作成

病院名： 中井記念病院

医療圏： 中和医療圏

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

① 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

当院は平成 14 年開院時より一般急性期病院 80 床として診療を行ってきたが、今後の地域の医療ニーズを踏まえ、2018 年 6 月より一般病床の 12 床を地域包括ケア病床に転換した。「断らない病院」として、80 床の小さな病院としての救急体制としては、樫原地区、葛城地区の 2 次救急輪番体制に参加しており主に月、火、土に地域の内科・外科 2 次救急患者の受け入れを行っている。消防の救急の E マッチや重症腹症のネットワークにも参加している。また、在宅患者や介護施設からの急変対応や、レスパイト入院も積極的に受け入れており、近隣の開業医、介護施設、訪問看護ステーションとの連携を強化している。すなわち当院としては、地域のニーズに合わせた小回りのきく救急を行なって行きたいと考えている。このことを踏まえて 2025 年に向けた対応方針として、急性期 80 床を重症急性期 45 床、軽症急性期・地域包括ケア病床 35 床にする予定である。「面倒見のいい病院」として、2019 年 5 月より地域包括ケア病床を 16 床に増床した。今後も段階的に増床していく方針である。地域連携室の充実を図り退院支援、ケアマネとの連携、退院調整を図る。リハビリテーションの施行、嚥下機能評価（嚥下内視鏡）医師、嚥下訓練看護師がいて摂食訓練ができ、中井歯科との連携も行っている。当院では現在在宅医療は行っておらず、地域連携室を中心に、開業医、施設との連携を密にしているが、将来在宅患者への訪問診療や訪問看護、訪問リハビリの実施や消化器疾患や生活習慣病の発病を予防する健診事業等も検討している。

② 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり
明らかになるようご説明ください。

当院では消化器疾患の診断から治療（緊急内視鏡を含む）、緊急手術を 24 時間体制で行なっている。また脳疾患・心臓疾患・整形外科手術治療後の患者に対してリハビリ等の入院加療を、地域包括ケア病床を中心に行っている。

現在樫原地区・葛城地区の 2 次救急輪番に参加していることで、様々な疾患の患者が運ばれて来る。迅速に初期診断を行い、当院で緊急治療の出来ない脳疾患・心臓疾患・整形疾患に関しては連携病院へ送るようにしている。また精神科病院からの精神疾患・認知症患者の緊急治療症例は積極的に治療し紹介元の病院に逆紹介しているが、紹介以外での受診患者の場合は、治療後の精神科病院・認知症専門病院への転院が困難な状況が昨年から続いている。

③ ②を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにできるようにご説明ください。

緊急を要する脳疾患は、橿原地区2次緊急輪番の場合、平成記念病院・奈良県立医科大学病院への連携、葛城地区の2次緊急輪番の場合は奈良県立医科大学病院への連携が決まっている。上記以外の疾患については地域連携室を充実させ、他の病院との病病連携を強めている。整形外科は吉本整形外科・外科病院、脳疾患は南奈良総合医療センター、奈良県立医科大学脳神経外科、精神疾患・認知症は万葉クリニック、秋津鴻池病院、心臓疾患は、大和橿原病院、奈良県立医科大学病院循環器内科へ紹介している。今後も調整会議等を開催し、疾患によっては送る病院との密接な関係作りを行っていきたいと考えている。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

様式 2

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

① 機能毎の病床数のあり方等について

※(a)の列は、同封している「病床数一覧」のH28年度の数値を記入してください。

	(a) 〈H28年度〉 許可 病床数	※R 元年度病床機能報告等の数値を記入				(b) 将来 (R7/2025年 度)	(b-a) H28年度か らの増減	
		〈R 元年度〉 許可 病床数	稼働 病床数	非稼働 病床数(注1)				
一般病床 療養病床	高度急性期	0床	0床	0床	0床	0床	0床	
	急性期	重症	35床	35床	35床	0床	35床	±0床
		軽症	45床	45床	45床	0床	10床	-35床
	回復期	0床	0床	0床	0床	35床	+35床	
	慢性期	0床	0床	0床	0床	0床	0床	
	休棟中	0床	0床		0床	0床	0床	
	(合計)	80床	80床	80床	0床	80床	0床	
精神病床	0床	0床	0床	0床	0床	0床		
介護医療院		0床	0床	0床	0床	0床		

吉本整形外科・外科病院
地域医療構想における対応方針

令和元年12月作成

病院名：吉本整形外科・外科病院

医療圏：中和

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

- ① 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

地域の整形外科中核病院として急性期医療・救急医療の提供を維持してまいります

- ② 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかになるようご説明ください。

整形外科での医療提供

- ③ ②を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかになるようにご説明ください。

奈良県立医科大学附属病院と連携し、転院用の病床を院内に確保しております

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

様式 2

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

① 機能毎の病床数のあり方等について

※ (a)の列は、同封している「病床数一覧」のH28年度の数値を記入してください。

		(a) 〈H28年度〉 許可 病床数	※R元年度病床機能報告等の数値を記入		(b) 将来 (R7/2025年 度)	(b-a) H28年度か らの増減	
			〈R元年度〉 許可 病床数	稼働 病床数			非稼働 病床数(注1)
一般病床・療養病床	高度急性期	床	床	床	床	床	
	急性期	重症	57床	57床	57床	0床	57床
		軽症	床	床	床	床	床
	回復期	床	床	床	床	床	
	慢性期	床	床	床	床	床	
	休棟中	床	床		床	床	
	(合計)	57床	57床	57床	0床	57床	
精神病床	床	床	床	床	床	床	
介護医療院		床	床	床	床	床	



済生会御所病院

地域医療構想における対応方針

令和元年12月作成

病院名：済生会御所病院

医療圏：中和医療圏

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

① 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

- 御所市における唯一の総合病院であり、地域住民からも市民病院的な位置づけとして長く認知されている。しかし、当院の現状の機能（常勤医師は内科・外科・整形外科のみ）や周辺環境からすると「面倒見のいい病院」としての役割が明確であるため、周辺の高度急性期病院等と連携することで、地域住民の方の急性期後の後方支援をしっかり行っていきたい。

② 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかになるようご説明ください。

- 高度急性期医療および常勤医師のいない（内科・外科・整形外科以外）急性期症例には現状対応できないため、周辺の高度急性期病院等との連携が必要。

③ ②を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかになるようにご説明ください。

- 以前より南和周辺地区病院群輪番制に入っていることに加え、平成 30 年 10 月から本格稼働した葛城地区二次救急輪番にも入り、幅広く地域の救急患者受入に取り組んでいる。
- 令和元年 11 月には、奈良県立医科大学附属病院と整形外科において連携強化の申合せの調印を行っているが、今後は奈良県立医科大学附属病院の他診療科、南奈良総合医療センター、大和高田市立病院と当院エリアの患者の後方支援に積極的に取り組めるよう連携強化を図っていきたい。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

様式 2

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

① 機能毎の病床数のあり方等について

※(a)の列は、同封している「病床数一覧」のH28年度の数値を記入してください。

		(a)		※R元年度病床機能報告等の数値を記入		(b)	(b-a)	
		<H28年度> 許可 病床数	<R元年度> 許可 病床数	稼働 病床数	非稼働 病床数(注1)			将来 (R7/2025年 度)
一般病床・療養病床	高度急性期	床	床	床	床	床	床	
	急性期	重症	82床	床	床	床	床	-82床
		軽症	49床	95床	95床	床	95床	46床
	回復期	36床	72床	72床	床	72床	36床	
	慢性期	床	床	床	床	床	床	
	休棟中	25床	23床		23床	23床	-2床	
	(合計)	192床	190床	167床	23床	190床	-2床	
精神病床	床	床	床	床	床	床		
介護医療院			床	床	床	床		



医療法人鴻池会 秋津鴻池病院

地域医療構想における対応方針

令和元年12月作成

病院名：医療法人鴻池会秋津鴻池病院 医療圏：中 和

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

① 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

当院は地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、医療療養病棟の3病棟を有し「地域の方の自立を支援する」を理念に病床機能報告制度開始以前より当院の役割は回復期機能と考え「在宅復帰を目指してのリハビリテーション」「認知症医療」に力を注ぎ日本医療機能評価機構より、リハビリテーション病院・慢性期病院として認定を受けている。

地域医療構想に於いても在宅復帰を目指してのリハビリテーションを多職種で、チーム医療を実践し地域に於ける回復期機能を担う病院として連携していきたい。

② 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり
明らかになるようご説明ください。

70名を越えるリハビリスタッフ（PT・OT・ST）が365日（朝リハビリ5日/週・夕リハビリ2日/週）リハビリを提供し、認知症ケア加算1のチームや看護、栄養、ソーシャルワーカー等の多職種で在宅復帰の支援を目指し、訪問看護、訪問リハビリや介護保険事業者、ケアマネージャーと連携を密にし在宅療養を支援しています。

当院としては、急性期病院からの受入、在宅や施設で療養中の方の急性増悪の受入等を行い面倒見の良い病院として在宅復帰支援や介護保険サービスとの連携を行います。

③ ②を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかになるようにご説明ください。

入退院情報を地域連携室（当院では医療相談課の名称）に集中させ、受入、送り出し状況を常に把握出来る状態にしている。中南和の各病院連携室に当院診療実績等を発信し連携を依頼すると共にケアマネージャー、介護事業者と勉強会を開き、面倒見の良い病院として療養支援出来る体制を構築している。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

様式 2

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

① 機能毎の病床数のあり方等について

※ (a)の列は、同封している「病床数一覧」のH28年度の数値を記入してください。

		(a) 〈H28年度〉 許可 病床数	※R元年度病床機能報告等の数値を記入		(b) 将来 (R7/2025年 度)	(b-a) H28年度か らの増減	
			〈R元年度〉 許可 病床数	稼働 病床数			非稼働 病床数(注1)
一般病床・療養病床	高度急性期	床	床	床	床	床	
	急性期	重症	床	床	床	床	床
		軽症	床	床	床	床	床
	回復期	79床	79床	79床	0床	79床	0床
	慢性期	42床	42床	42床	0床	42床	0床
	休棟中	床	床		床	床	床
	(合計)	121床	121床	121床	0床	121床	0床
精神病床	423床	423床	376床	47床	423床	0床	
介護医療院		床	床	床	床	床	



天理よろづ相談所病院

○ 地域医療構想における対応方針

○
令和元年 12 月作成

病院名：公益財団法人天理よろづ相談所病院 医療圏：東和

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

① 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

当院がこれまで果たしてきた役割を継続して果たしていく。すなわち、基幹病院として二次医療圏のみならず全県的（一部他府県）に高度医療を提供することを第一の使命とする。さらに、軽症急性期であっても複数の疾患があるあるいは該当診療科がない等の理由で他施設では診ることのできない人も受け入れる方針に変わりがない。

同時に、近隣を含め他病院との連携を推し進め、それぞれの人が病状・病期に応じた医療を適切な場所で受けられるよう援助する。

② 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかにできるようご説明ください。

複数疾患を持つ人でも、急性期から回復期、慢性期に円滑に移行できるような病院間連携が進むよう力を尽くしたい。特に軽症急性期に関しては、これまで以上に連携が進むことが重要であると認識している。

③ ②を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにできるようにご説明ください。

診療科あるいは疾患群ごとに、軽症急性期以後の連携に取り組んでいる。東和地区では白川分院、奈良東病院が先行しているが、隣接二次医療圏とも取組を進めている。また、隣接の三重県上野総合市民病院とは消化器グループの連携に取り組んでいる。今後もこの充実を第一に掲げて取り組みたい。

また、当院診療各科の上級医師が先方に出向き、入院診療を援助（回診、コンサルテーション）する仕組みを試行している。さらに、在宅機能を関係の白川分院に移し、強化型在宅療養支援病院として白川分院が地域に貢献している。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

様式 2

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※様式1を踏まえた具体的な計画について記載してください

① 機能毎の病床数のあり方等について

※ (a)の列は、同封している「病床数一覧」のH28年度の数値を記入してください。

		(a) 〈H28年度〉 、許可 病床数	※R元年度病床機能報告等の数値を記入		(b) 将来 (R7/2025年 度)	(b-a) H28年度か らの増減		
			〈R元年度〉 許可 病床数	稼働 病床数			非稼働 病床数(注1)	
一般 病床・療養 病床	高度急性期	345床	305床	305床	0床	305床	△40床	
	急性期	重症	208床	185床	185床	0床	185床	△23床
		軽症	143床	160床	160床	0床	160床	17床
	回復期	床	床	床	床	床	床	
	慢性期	床	床	床	床	床	床	
	休棟中	119床	65床		65床	65床	△54床	
	(合計)	815床	715床	650床	65床	715床	△100床	
精神病床	床	床	床	床	床	床		
介護医療院		床	床	床	床	床		

